



新着本案内2月号

愛知みずほ大学瑞穂高等学校
瀬木学園図書館
令和4年2月7日

『絶滅危惧動作図鑑』 藪本晶子著 (049/ヤ)



チャンネルを回す、黒電話をかける、携帯の電波を探すなど、時代とともに消えていくであろう「動作」を、「絶滅危惧レベル」順にイラストで解説しています。

『世界の神々』 鈴木悠介監修 (164/ス)



個性豊かで魅力たっぷりの神々や英雄たちの特徴・エピソードをイラストとともに紹介、その神話が生まれた背景についても解説しています。

『明治を生きた男装の女医』

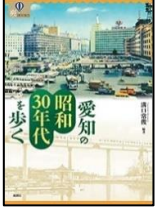
田中ひかる著 (289.1/夕)



女性が医師免許の試験を受けられなかった明治時代に、その門戸をこじ開け、ドイツ留学も果たした高橋瑞の生涯を描きます。

『愛知の昭和30年代を歩く』

溝口常俊編著 (291.55/ミゾ)



新幹線、オートバイ、テレビ塔、百貨店、銭湯、喫茶店、鬼ごっこ、駄菓子、集団就職など、愛知県の活気あふれる時代の息吹を感じるビジュアルガイドです。

『おれで学ぶシリーズ』

『日本の経済』 (337.4/オ/1)

『日本の歴史』 (337.4/オ/2)

『日本の社会・世相』 (337.4/オ/3)

『キャッシュレス時代とお礼の未来』

(337.4/オ/4)



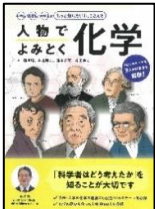
『「コミュ障」の社会学』

貴戸理恵著 (361.45/キ)



不登校経験を持つ著者が、不登校やひきこもりに寄り添いながら、学校や職場を支配する「コミュニケーション至上主義」の背景を明らかにします。

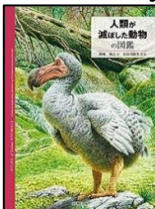
『人物でよみとく化学』 藤嶋昭著 (430.28/フ)



化学分野の研究や発展を人物で読み解きます。研究や人物のエピソードも満載で、楽しく知識を身につけることができます。

『人類が滅ぼした動物の図鑑』

Radek Malý著 (482/ラ)



☆2020年チェコ児童文学賞『金のリボン賞』受賞☆
人類の活動によって絶滅したとされる41の動物たちの姿を、美しいイラストで再現しています。

『海の中から地球を考える』

武本匡弘著 (519.4/夕)



地球温暖化や気候変動によって危機にさらされる海の生き物たちの現状を、プロダイバーとして海と深く関わってきた著者が伝えます。

『目の見えない白鳥さんとアートを見にいこう』

川内有緒著 (706.9/カ)



目の見えない白鳥さんとの美術館めぐりを追体験のように楽しむことができるノンフィクション！新しい視点でアートを見ることができます。

『美しい自然の色図鑑』

パトリック・バティ編/石田亜矢子訳 (757.3/バ)



近代の芸術・自然科学の発展を支えた自然界生まれのカラーチャートを、動物・植物・鉱物の博物画とともに掲載しています。

『世にも美しい三字熟語』

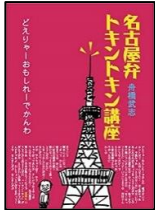
西角けい子著 (814.4/ニ)



頓珍漢、五月雨、大団円など、日本語の豊かな漢字文化によって形成されている「三字熟語」の世界をのぞいてみましょう！

『名古屋弁トキントキン講座』

舟橋武志著 (818.55/フ)



名古屋ならではの言葉を取り上げ、その背景にあるものを歴史的・地理的・国語的など様々な角度から考察しています。

文庫

『春夏秋冬代行者 上・下』

暁佳奈著 (913.6/アカ/1-2)

『いつかの冬、終わらない君へ』

いぬじゅん著 (913.6/イヌ)

『青の呪い』 神永学著 (913.6/カミ)

『青の女公』 喜咲冬子著 (913.6/キサ)

『臆病な僕らは今日も震えながら』

汐見夏衛著 (913.6/シオ)

『雨上がり月霞む夜』

西條奈加著 (913.6/ニシ)

『ハケン飯』 榎野道流著 (913.6/フシ/1)

『刀：文豪怪談ライバルズ!』

東雅夫編 (913.68/ヒガ)

『異常論文』 樋口恭介編 (913.68/ヒグ)

『ヨルガオ殺人事件 上・下』

アンソニー・ホロヴィッツ著/山田蘭訳 (933.7/ホロ/1-2)

『テヘランでロリータを読む』

アーザル・ナフィーシー著/市川恵里訳 (936/ナ)



☆第166回芥川賞受賞作品☆

『ブラックボックス』(受入予定)

砂川文次著 (913.6/スナ)



自分のなかの怒りを止めることのできない悪癖があるサクマが、自転車メッセンジャーとして都内を今日もひた走る。

☆第166回直木賞受賞作品☆

『塞王の楯』 今村翔吾著 (913.6/イマ)



どんな攻めをもはね返す石垣。どんな守りをも打ち破る鉄砲。「最強の楯」と「至高の矛」の対決を描く、究極の戦国小説！

『黒牢城』 米澤穂信著 (913.6/ヨネ)



本能寺の変より四年前、天正六年の冬。織田信長に叛旗を翻して有岡城に立て籠った荒木村重は、城内で起きる難事件に翻弄される…。

☆第38回小田作之助賞大賞受賞☆

『リリアン』 岸政彦著 (913.6/キシ)



社会学者が描く哀感あふれる都市小説集。ジャズベーシストの男とバーで知り合った女が、大阪を歩きながら互いの身の上を語り合う—『リリアン』ほか全二編。

☆第15回小説現代長編新人賞受賞☆

『檸檬先生』 檸檬先生 (913.6/タマ)



音や数字に色が見えたりする「共感覚」を持つがゆえにクラスから浮いていた私が出会ったのは、同じ「共感覚」をもつ少女だった。

☆第20回「このミステリーがすごい！」

大賞」大賞受賞作☆

『黒牢城』 米澤穂信著 (913.6/ヨネ)



現役弁理士が描く企業ミステリー！映像技術の特許権侵害を警告され活動停止を迫られる人気VTuber・天ノ川トリイを救うべく、弁理士・大鳳未来が立ち上がる。

◇◆◇新着DVD案内◇◆◇

邦画

『アーヤと魔女』『彼らが本気で編むときは』

『東京リベンジャーズ』『れいこいるか』

洋画

『白頭山大噴火』『イン・ザ・ハイツ』

『17歳の瞳に映る世界』『レミニセンス』

